

令和 8 年度 第 1 回
大野市文化財保存活用地域計画推進協議会
会 議 録

日 時 令和 8 年 6 月 2 9 日 (月) 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0
場 所 大野市役所 2 階 談話室

大野市教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課

- 1 教育理念唱和
- 2 委嘱状交付
- 3 課長挨拶
- 4 会長・副会長選出

會長挨撈

5 議事

資料に基づき説明

会長 : 資料 1、資料 2 において、保留・中止や未到となっている内容については、どのように取り組むよう考えているのか。

事務局 : ホームページでの神像・仏像調査結果の公開については、まったく諦めたということではなく、保存環境や防犯上の取り組みなどに鑑みて、公開できるものについては情報を共有し、価値を正しく知ってもらいたいと考えている。所有者や区民などへの文化財に関する情報共有は行っている。

民俗芸能に関して、ふるさと芸能発表会については、行われなくなってしまうているが、太鼓教室を開催し発表会を実施するなど、形を変えて小中学生へのアプローチを進

めている。

会長 : 中間期で計画の見直しを行っており、変わった委員の方も
おられたため、情報を共有させていただいたところである。
ほかの関係からの発言をお願いしたいが、いかがか。

市職委員 : 周遊イベントの開催について、昨年、複数の施設を回れる
文化施設周遊券「1日ぐるっと満喫フリーパス」を5月、
8月、9月と試験的に販売した。本市の施設については越
前大野城への訪問が多いが、1枚購入することでほかの施
設を回れることから、近隣の田村家や内山家、イトヨの里
など、平均で3.2施設を回っているという結果が出ている。
今年も5月から1日券を800円で販売しており、約3.4
施設を回っているという結果が出ており期待している。2
日券1,000円も販売しているが、あまり利用はない。

市職委員 : 本願清水イトヨの里を所管している。今年、開館25周年を
迎え、夏休みからの記念企画展に向け準備を進めている。
11月ごろにも企画展を計画している。広報おおの7月号に
特集記事を掲載しており、ぜひご覧いただきたい。

会長 : 文化財所有者として、委員から何かいただけないか。

委員 : 子育て中の母親を対象とした、リラクゼーションマルシェ
のイベントへ会場を提供したことをお話しさせていただく。
飲食用のスペースとして座敷を提供し、狩野派が描いたと
言われる襖絵の前で食事をとっていただいた。そこから庭
が見えるが、庭を愛でる方々の姿がとても印象的で、文化
財ではないが、庭が持つポテンシャルを感じ、これから活
用して行けないかと思った次第である。

また、県立美術館で寄託保管している寺の文化財につい
て修繕を行う話があり、専門業者からの見積の報告などを
受けることとしている。金額をまだ聞いていないので、恐
れているところである。修繕後には多くの方に見ていただ
く機会を作りたいと考えている。

ほかにも春彼岸のイベントとして、寺の文化財を皆さん

に見ていただく機会を設け、田中学芸員に説明いただいている。私自身も刺激を受けているところである。

事務局 : 地域計画における課題として文化財の保護の面がある。無形文化財など、なかなか難しい面はあるが、公開や活用ということも課題と捉えている。調査、研究などに関しては自分たちのペースでやっていけるが、公開や活用については、そうはいかない面もある。観光活用などを通じて、郷土の誇りへつなげられたらと考えており、そのような内容についても、意見などを頂ければと思っている。

会長 : 文化財の活用について、いろんな方へ来ていただくということもあるが、所有者にあらためて、認識を深めてもらうということも目標の一つだと思っている。

委員 : 商工会議所で、おおの城まつりのイベントをしているが、こちらも少子化の影響など後継者の問題がある。若い世代の方々に、まず踊りに来ていただき、楽しさを知っていただくことで、メンバーへ入ってもらうといった流れをやっているところである。

昨年ぐらいから、踊りのメンバーもジュニアチームを作って、小学生に参加いただいております、8月15日に、そのお披露目の場を30分程度設けるような取り組みを進めている。商工会議所としても普段の事業において、文化財をどのように活用できるか考えたい。

会長 : 地球科学研究会の前任者からは何か聞いているか。

委員 : 引継ぎとして聞いていることは特にはない。私は木材や植生を専門としており、化石などには携わってはいないが、大野の自然は日本の植生が入り混じった地域となっており、文化の一つではないかと考えている。

また、市内の文化財の建物等が傷んできた際に、地域の木材を使用して修理したほうが、湿度などが地域の環境に即しているほか、地域としても活用されて良いのではないかと考えている。

会長 ：メンバーも変わっており、皆さんからお話いただいた。
次に令和８年度の文化財関係事業のスケジュールを説明
いただきたい。

（２）令和８年度 文化財に関する事業について
資料に基づき説明

< 質疑・意見等 >

委員 ：隣の寺院などで、お寺でアートといったイベントを３月か
ら１１月まで行っている。去年は浄土真宗のお寺しかやって
いなかったようだが、今年は宗派を超えて広く行われている。
小コレクター運動で所有されているような絵をテーマ
ごとに展示されているとお聞きしている。

会長 ：ホームページ等で紹介されている内容か。

委員 ：そこまでは把握していないが、お寺など市内各地にパンフ
レットが置いてあると認識している。

会長 ：どこへ出かけてもそうだが、観光パンフレット等は、手に
取るものによって情報量が異なり、どれを手にとってよい
かわからないことがある。ホームページで検索できるとあ
りがたい。なお、スケジュールに記載されている内容につ
いては、措置や関連文化財群の番号を記載し関連付けして
もらうと、計画の成果が分かりやすくなると感じた。

事務局 ：地域計画については、昨年度、時点修正ということで、過
去４年間で踏まえ見直しをさせていただいた。

地域に根差している風習の中には、文化財としての価値
を有していながらも見逃されているような案件が、まだあ
るのではないかと考えている。

先ほどの「お寺でアート」の取組のように、お寺へ足を
運ぶきっかけを作り、緩やかに文化財を守っていくような
取組やアイデアがあれば、事務局までお願いしたい。また
「おおの遺産」の取組についても、なかなか情報が無い

め、情報提供をお願いしたい。

6 その他 特になし

7 閉会（副会長）

活発な協議をいただき感謝する。

文化財の保存が第一ではあるが、活用していく、知っていただくことが保存につながると考えている。価値を皆さんに知っていただくことで、保護・保存の流れになるとよい循環ができるのではと思う。クラウドファンディングなどにつながっていく可能性も考えられる。

各課の担当の方のご尽力、出席いただいている皆様のご意見が大事になってくると思っており、協議会以外でも発信していただけたらと思う。

協議会のますますの発展を祈念し、閉会の挨拶とさせていただきます。